

狩野川水系河川整備計画の進捗状況と点検

令和6年12月9日

国土交通省 中部地方整備局
沼津河川国道事務所

河川整備計画の主な整備内容と整備進捗

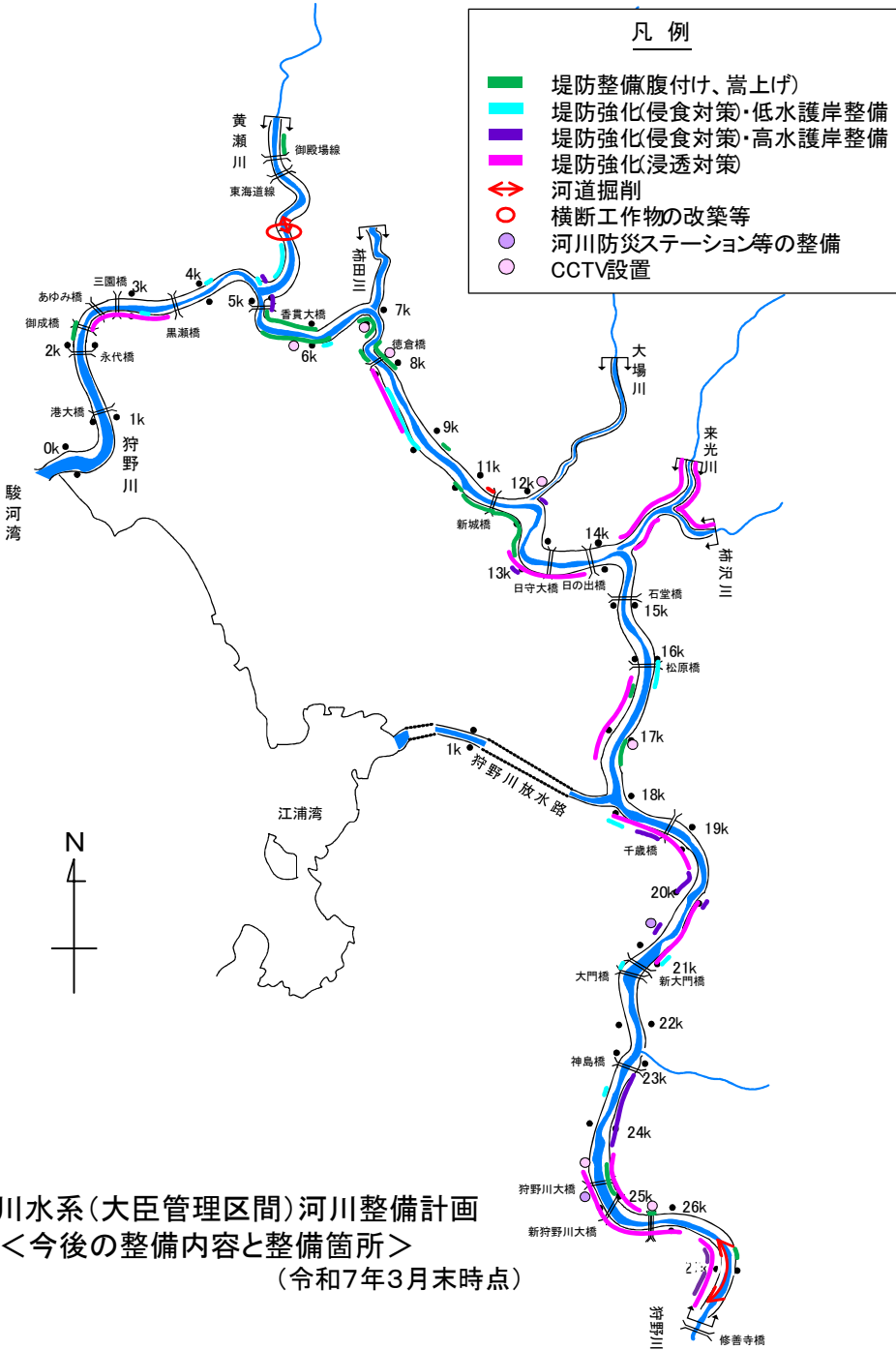
- ◆ 狩野川水系河川整備計画策定時(平成17年度)からの整備状況
 - ・ 堤防整備の整備進捗率は5割を超え、着実に進捗

狩野川水系(大臣管理区間)河川整備計画の主な整備内容と整備進捗率

整備内容	河川整備計画 (数量)①	整備完了 (数量)②	残工事 (数量)	整備進捗率 ②÷①
堤防整備(嵩上げ・腹付け)	約19.0km	約11.3km	約7.7km	約59%
浸透対策	約15.0km	約0.0km	約15.0km	0%
侵食対策(護岸整備)	約10.2km	約2.8km	約7.4km	約30%
河道掘削※	約247千m ³	約162千m ³	約85千m ³	約66%
樹木伐開 (維持伐開を除く)	約3.7ha	約3.7ha	約0.0ha	約100%
横断工作物等の改築	2箇所	1箇所	1箇所	50%
危機管理型ハード対策	約0.9km	約0.9km	0.0km	100%
減災対策 (河川防災ステーション等の整備)	3箇所	1箇所	2箇所	33%
減災対策 (CCTVカメラの増設)	8基	1基	7基	約13%

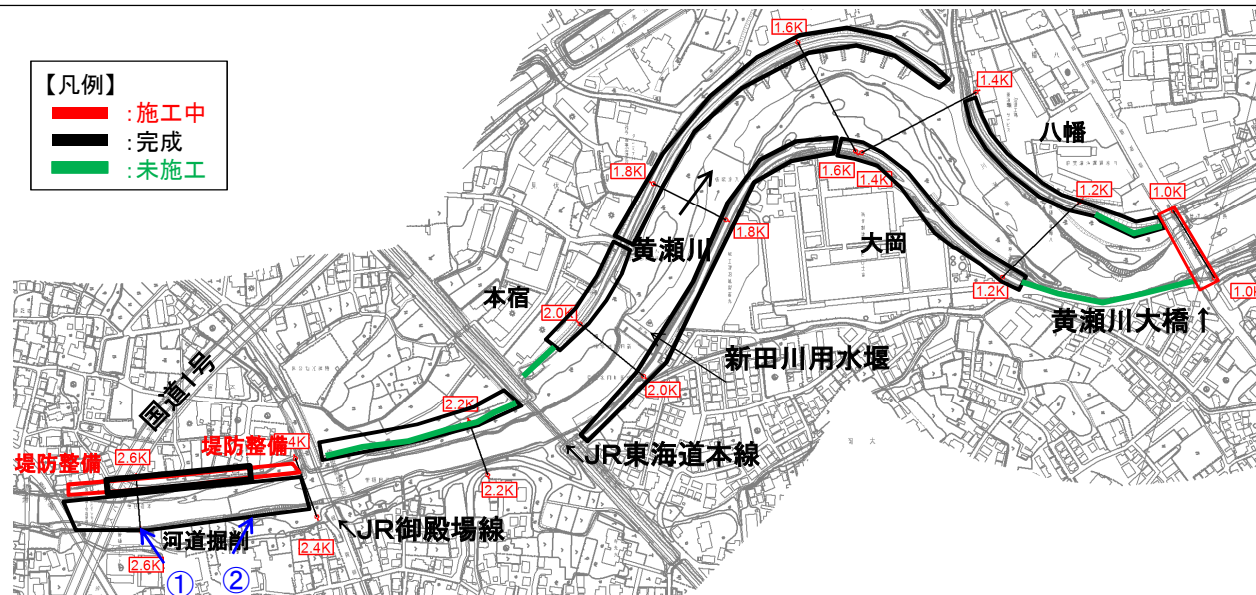
※南江間地区における多自然川づくりを含む

狩野川水系(大臣管理区間)河川整備計画
(平成17年12月16日 策定)
(平成28年12月9日 変更)



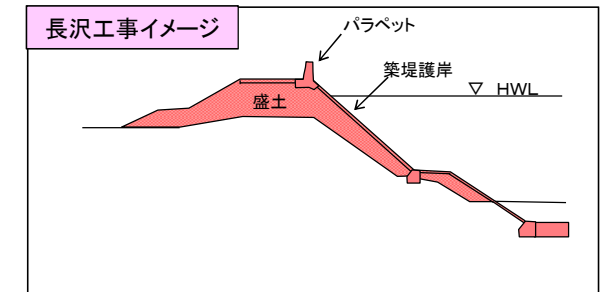
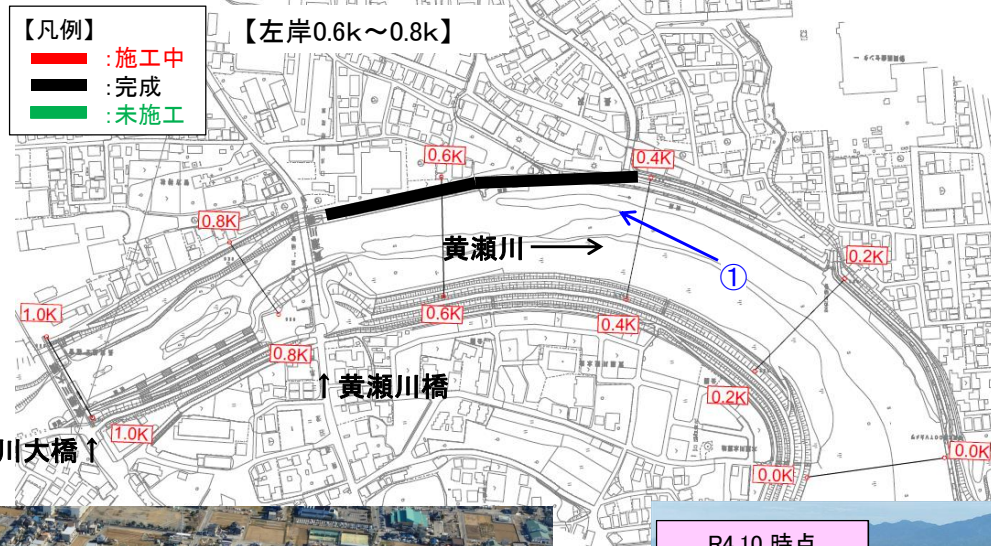
① 黄瀬川堤防整備状況(本宿地区、大岡地区、八幡地区)

- ◆ 黄瀬川(長泉町本宿地区、沼津市大岡地区、清水町八幡地区)は、堤防高と断面が不足しているため、堤防整備と河道掘削等を実施。
- ◆ 令和3年度に損傷した黄瀬川大橋の架替事業(静岡県)に合わせて橋梁上下流の築堤護岸整備及び樋管の統廃合に着手予定。
- ◆ 令和4年度に、本宿地区の一部区間で堤防整備が完成。令和6年度末までにJR御殿場線上流部を一連区間で完成予定。



② 黄瀬川堤防整備状況(長沢地区)

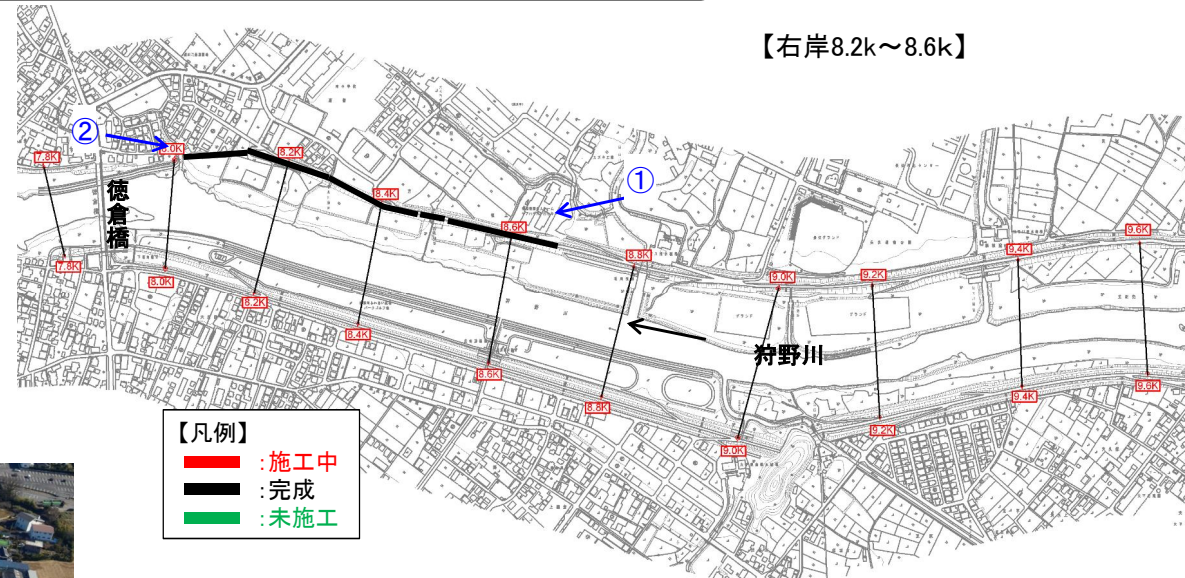
- ◆ 黄瀬川(清水町長沢地区)は、堤防高が不足しているため、堤防整備を実施。
- ◆ 令和6年度に堤防整備が一連区間で完成。



③ 清水町的場地区の堤防整備状況(狩野川)

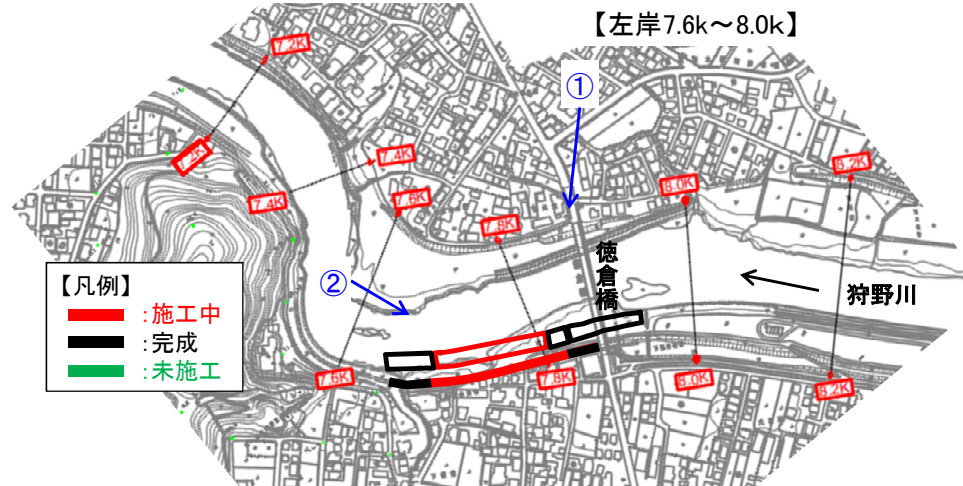
まとは

- ◆ 清水町的場地区の堤防は、堤防高と断面が不足、また、同地区では、樋管の統廃合を行う。
- ◆ 令和5年度に堤防整備が一連区間で完成。



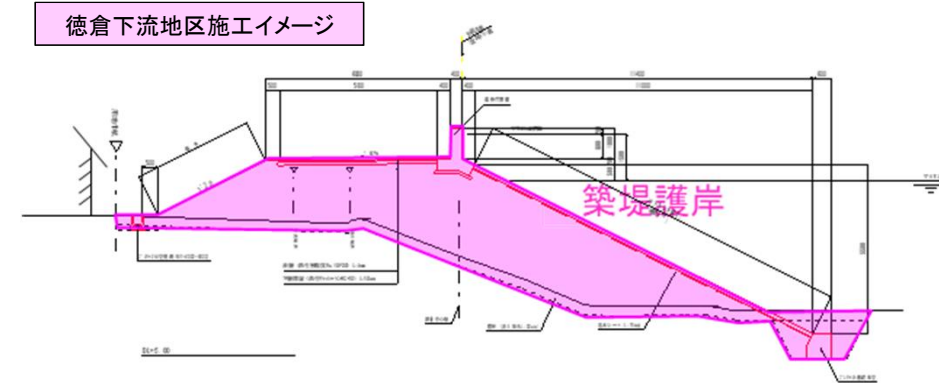
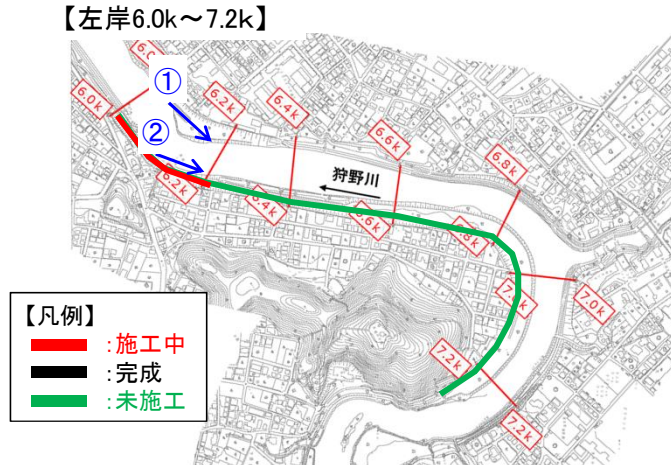
④ 清水町徳倉地区の低水護岸整備状況(狩野川)

- ◆ 清水町徳倉地区の堤防は、堤防高が不足しているため、堤防整備・低水護岸を実施
- ◆ 令和6年度に、護岸整備が一部完成。引き続き、堤防整備・低水護岸を実施。



⑤ 清水町徳倉下流地区の堤防整備状況(狩野川)

- ◆ 清水町徳倉下流地区の堤防は、堤防高が不足しているため、堤防整備を実施。
- ◆ 令和6年度より、工事に着手。

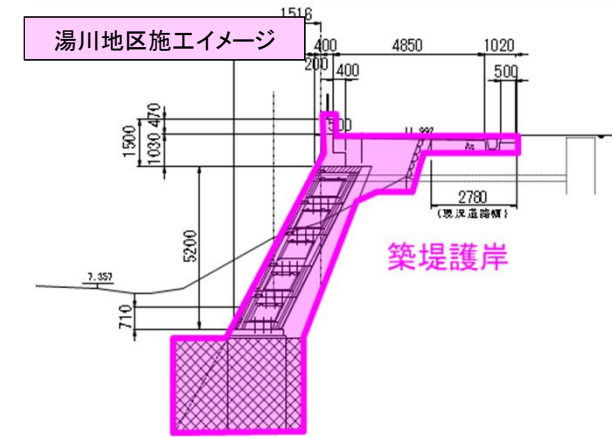
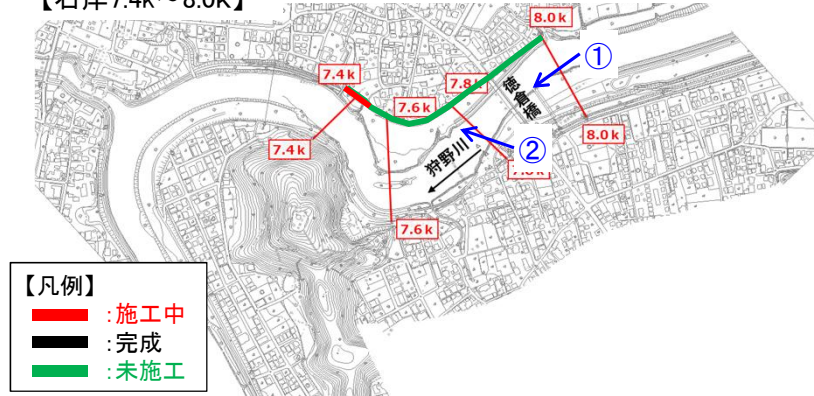


⑥ 清水町湯川地区の堤防整備状況(狩野川)

- ◆ 清水町湯川地区の堤防は、堤防高が不足しているため、堤防整備を実施。
- ◆ 令和6年度より、工事に着手。

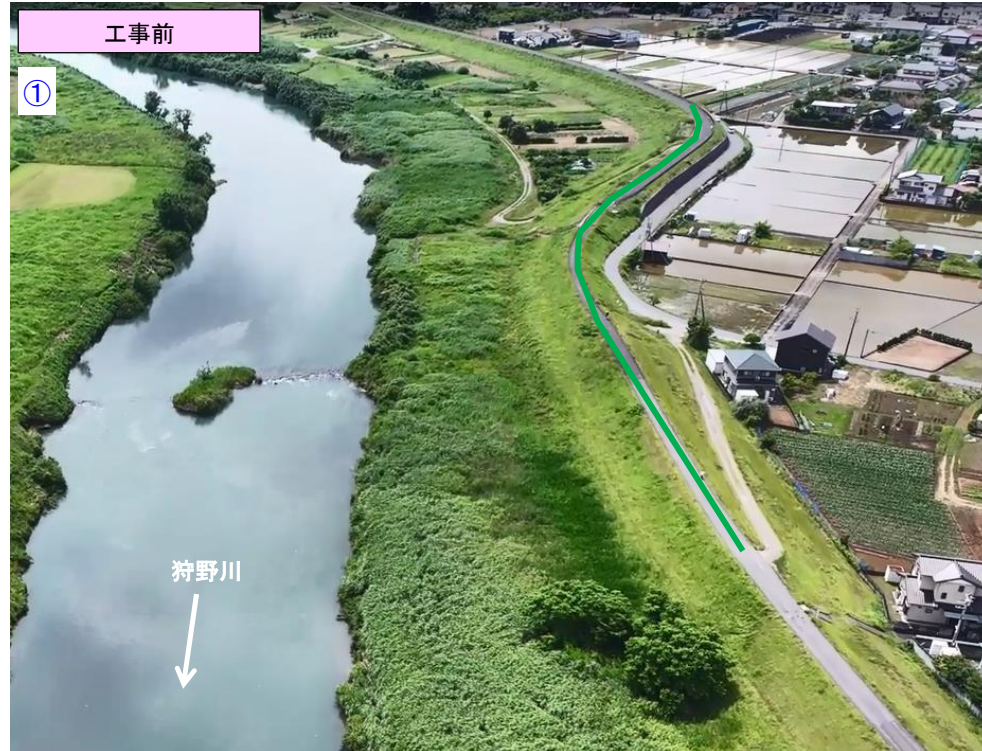
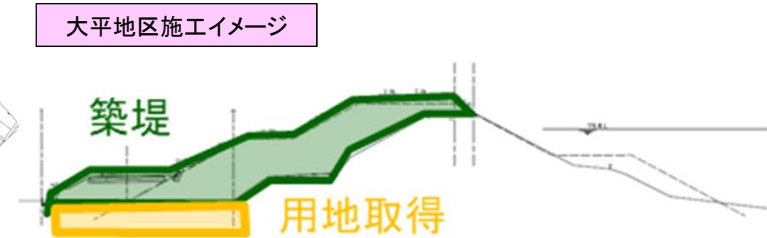
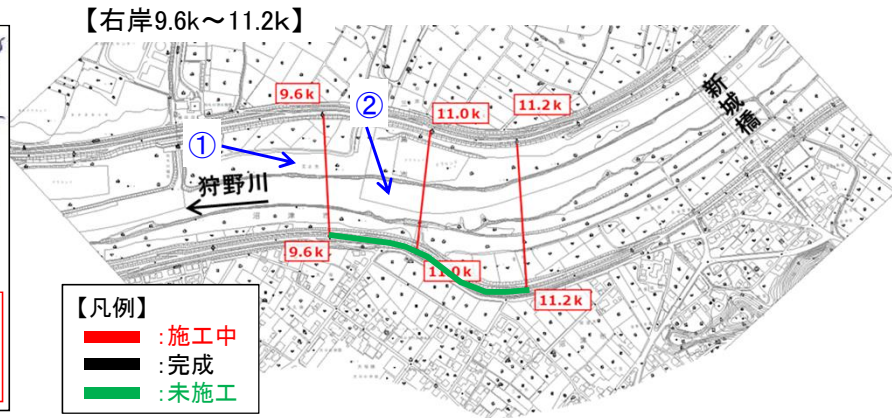


【右岸7.4k~8.0k】



⑦ 沼津市大平地区の堤防整備状況(狩野川)

- ◆ 沼津市大平地区の堤防は、堤防高及び幅が不足しているため、堤防整備を実施。
- ◆ 令和6年度に新規事業化。現在詳細設計及び用地調査中。



河川の維持管理

◆「狩野川河川維持管理計画」に基づき、河道流下断面の確保や堤防等河川管理施設の機能維持等について、管理目標を定めたうえで、状態把握を行い、その結果に応じて適切な維持管理を実施している。

河川の維持管理

- ・堤防や樋管・排水機場などの河川管理施設について、点検や河川巡視を行い、施設に変状がないか把握をしています。
- ・堤防状態を把握するため、出水期前及び台風期の点検の前に堤防除草を実施しています。
- ・河川管理施設の老朽化が進行しているため、ゲート更新や補修を計画的に実施しています。
- ・河道内樹木や堆積土砂により流下能力が低下してしまうため、樹木伐開や河道掘削を実施しています。

令和5年度の除草取り組み状況

実施項目	実施箇所	実施期間
除草	管理区間	台風期点検前の除草 5～8月
		出水期前点検前の除草 8～11月

令和5年度の河川巡視実施状況

巡視の種類	巡視の方法	実施区間
一般巡視	車両	沼津河川国道事務所管内
目的別巡視	車両	
	徒歩	
出水時巡視	車両	



除草作業状況



河川巡視状況

施工前



施工後



河道掘削実施状況(来光川右岸0.6 ～ 1.1k付近)

施工前



施工後



施設補修状況(上町樋管)



出水期前河川施設点検状況

取り組み状況

- ◆ 神島地区は「伊豆の国市かわまちづくり計画」を策定し、伊豆の国市を主体に水辺整備事業を実施。
- ◆ 水際の整備としてアクセスの容易な緩勾配の河岸を整備し、高水敷利用の基盤整備として高水敷の整正や階段、坂路、管理用通路を整備。
- ◆ 伊豆の国市は、オフロードコースや多目的広場等を整備。Park-PFI制度（指定管理者制度）を活用し、公募で選ばれた指定管理者が公園を管理・運営していく。川の駅「伊豆城山」として令和5年10月にオープンした。

令和元年（着手前）



完成式典の様子

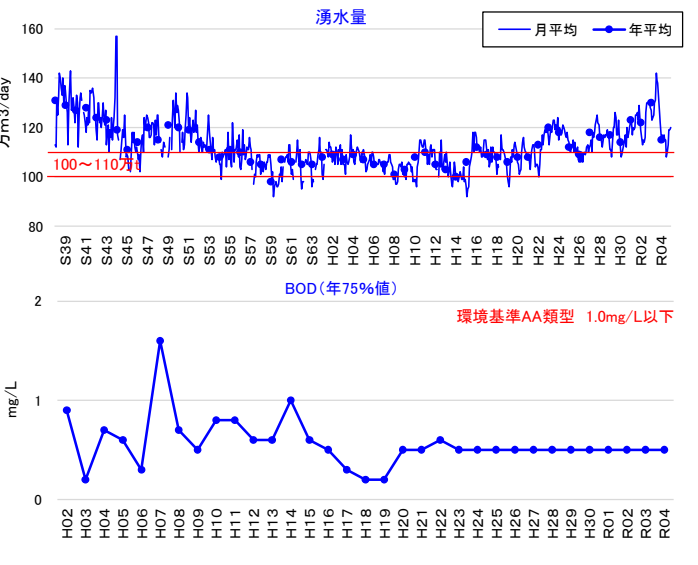
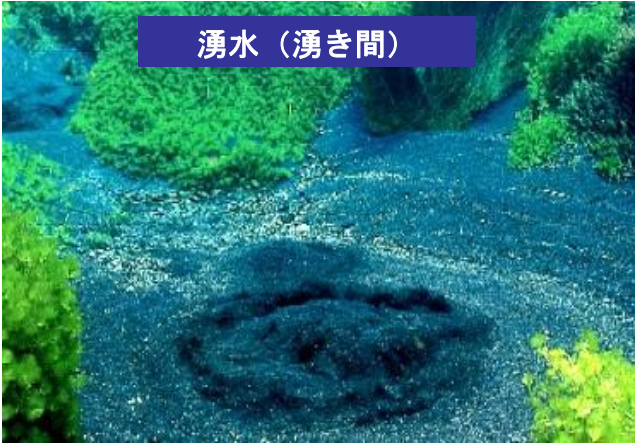


くす玉・テープカット

※温暖化対策の取り組み：管理用通路において、CO₂の吸着・固定化により、製造プロセスにおけるCO₂排出量を削減したコンクリートを使用

柿田川の河川環境

- ・湧水を水源とし、年間通じて水量、水質ともに安定し希少な水生植物や越冬アユ等が生息する。
- ・貴重種（絶滅危惧種）は、ミシマバイカモ（植）、ウツセミカジカ（魚）、カマキリ（アユカケ）（魚）、アオハダトンボ（昆虫）等27種の生息が確認されている。
- ・都市部にありながら類い希で貴重な自然環境を有している。



外来種駆除と在来種再生

- ・オオカワデシヤ等の外来種が増加し、在来種の脅威となっている。
- ・柿田川自然再生計画に基づく自然再生事業として、地域住民と連携した外来種の駆除や在来種の再生を実施している。
- ・近年低密度域が下流に広がったことによる外来種生育面積の拡大、ミシマバイカモの低密度化等に対応するため、計画の変更案を検討中。

